

いわき民報

発行所
いわき民報社
平市田町四丁目一七番地
電話一七六番
編集長 野村 龍三
印刷 野村 龍三
日刊 但月曜 休
定価 一月十円 一年九十円

常磐炭鑛の朗報

鹿島坑の礦業用水問題解決し 年産四十万トン増産

常磐六千五百カワロコ炭鑛唯一の優良坑といはれる鹿島坑も、着炭以来礦業用水の不足と換氣、排水設備の不完全から月産一萬トンでストップし、これ以上増産を望み得ぬ現状にあるが、日本再建は一にかつて石炭の増産にあるといふ現況から今回總工費五千萬圓投じて、鹿島坑の増産に必要といはれる、年産四十万トンの大増産を遂げようといふ國家的朗報がもたらされた。

水田千三百町歩にも活 澆水を防ぎ一石二鳥の狙ひ

石炭三千萬トンの増産時代の曙光を浴びて浮き出した鹿島坑は、鑛城炭鑛が人山と合併前に増進し、昭和十九年の暮着炭した温炭鑛のため坑内作業極めて条件悪く、月産一萬トンの生産がストップしてしまつた。これを以上増産するにはどうしても、冷却用水と澆水用鑛坑、澆水排水を完成する必要に迫られ、先づ澆水用水を取手にして進行して換氣排水工事を進めることになつたのである。

一漁期一億圓

本郷の鰯船は九月一三勢揃い
一漁期で二億圓の水揚げを目前とする本郷の鰯船は九月一三日の漁獲を前に控へ、各漁船にわたつたが宮城縣との協定成立に依つて今年より二十五日早く網を巻くのである。今年も漁獲も極めて良く、北方漁場には早くも船隻と折衝した。

民報論壇

警備と貿易の再開

國民希望の貿易が今十五日から再開された。貿易の爲め必要な回國資金も日本の金銀、貴金屬、寶石等を擔保として五億ドルと云ふ巨額を貸して呉れると發表された。本郷に於ても早くから貿易再開に備へて各種商品を出すべく準備して、

ポロ回収不良

市民の組織する古羅維を再生するポロ回収会は月未締切つて市から取扱ひの山田文一さんへ引渡したが、市内の回収係に六百七圓で、市民の家庭にはポロ切れも無くなつたかと係員ら驚いている。

夜の野菜市

毎夜大盛況
平市の野菜不足を緩和するため市會第四部會が肝入りで郵便側に開設された夜の野菜市は十四日夜から電燈もつき本格的に開市したが、同夜は持込み者が八名で散歩がてらの興ざん運押すな押すなとの聲援で新鮮な野菜三百貫ばかりが忽ち賣れ切れとなり好評を博している。

観光事業の打合せ

廿一日本社ホール
石城地方の觀光状況視察の爲め日本交通公社社長新井きよ子氏外三名は来る二十一日來平するが、同社支部では同日午後一時からいわき民報ホールで新井社長を圍み觀光事業について協議する。

夜明けの風景

朝の光が射す頃、柔らかな光があつて、静かな安んぎのなかに、ふんばり、食糧への贈らうと各漁船も張り切つている。

観音堂と折衝した

建てられた出資金問題も千二百萬圓の協賛の協賛成り、協賛網漁業代表者三代表協賛氏等一行は十五日出陣、日本銀行協賛支店と折衝した。

観音堂と折衝した

建てられた出資金問題も千二百萬圓の協賛の協賛成り、協賛網漁業代表者三代表協賛氏等一行は十五日出陣、日本銀行協賛支店と折衝した。

言寸きわい

◆今冬の木炭先づ大丈夫の御託言、計高割れにならぬ、御努力を願ふ。
◆消防團市に移管となる、役人氣質にならぬより、よりよき機能の發揮をのぞむ。
◆市氏の家庭にポロ切れも無し、耐之生活はこれからだ。
◆平署が暴力行爲一掃に乗出した、自信をもつてやつてほしい。

レコード樂器類及び附屬品

ヤマハ、ヘンド、モニカ、ギター、木琴、楽譜、用のレコード、多量に不揃お取り下さい。
新品、中古品、修理、迅速に修理致します。
有名化粧品、シロツブ文具
サンスタール煉歯磨代理店
平市四丁目二番地 山吉商店

計理士、稅務代理士

桑原 ト オ ル
電話 (平) 5115

開店

ハマメント
ウエーブル
ふたば美容院
日本製着付一切
湯本町上町本町支店
醫藥用、化學用
其他硝子製品一式
新星硝子工業株式會社
平市 佃町
電七二四番

麻

雀
平一丁目聚樂館裏

麻

雀
平一丁目聚樂館裏

